

筑紫鍼灸院

旧暦 極 月
春 待 月
晩 冬

2006年1月

no.114

養生之暦

日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月							
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30



二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	廿	廿一	廿二	廿三	廿四	廿五	廿六	廿七	廿八	廿九	一	二
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	---	---

旧暦 土月 一	小寒	上弦 12:04 月出 18:40 月没 00:21	望 07:23 日出 17:32 月没 17:12 正月中 月没 07:26	大寒	下弦 00:50 月出 06:20 正月中 月没 11:43	朔 07:17 日出 17:47 月出 07:09 正月中 月没 12:09 旧正月 月没 17:15
---------------	----	-------------------------------------	---	----	--	--

平成十八年 丙戌 ひのえいぬ

善養生者

養生の道は

若牧羊然

後れた羊を鞭

視其後者

打ちながら

而鞭之

群れを統率す
る牧羊のよう
なものである

而鞭之

狂牛外編

晩冬 五日小寒 二十日大寒

平成十八年、昭和で八十一年、大正で九十五年、明治で百三十九年。遠くなりしか明治大正昭和。

何十年ぶりという、厳しく冬らしい冬が続いています。予報では、正月から一月中は平年並み或いはやや低め、それ以降三月までは平年並みか高めの気温と出ています。強がりかも知れませんが、久しぶりの冬らしい冬、正月らしい正月で悪くはありません。しかし、北越や東北の豪雪の様子を見るにつけ、彼らでは暮らせないなあ、が正直な所です。平和と豊かさの恩恵として長寿を授かり、その代償には肥満と糖尿、そして老いと病ひの不安。誰でもよく知っているのは、恩恵には代償が伴うこと。強さと弱さ、長所と短所が相補的であるように。そして、少しだけ代償が下回るからこそ、恩恵が恩恵であることを。しかし、老いの源泉が若さにあり、病ひの元に健康があることを理解しようとしなない。永遠の若さ、百パーセントの健康、あり得べくもない我執の果てに煩悶するも、これまた一つの代償。

火 31



三

億年の

うたかたを手に

船に乗る



筑紫鍼灸院

2006年2月

旧暦 睦月 月初
春 春 初

no.114

養生之暦

水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火							
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28



四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	廿	廿一	廿二	廿三	廿四	廿五	廿六	廿七	廿八	廿九	卅	一
---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	---	---

旧暦 一月	節分	立春	上弦 月出 11:07 月中 18:14 月没 00:24		望 日没 07:05 日出 18:01 月出 18:02 月没 00:14 正波 07:15		雨水		下弦 月出 00:45 月中 05:50 月没 10:50		朔 日没 06:48 日出 18:14 月出 06:59 月没 12:41 正波 18:33
-------	----	----	--	--	---	--	----	--	--	--	---

四日立春、十九日雨水
 昨年十二月の寒波以降の寒さのせいで、あとひと月辛抱の二月。北越などの豪雪地帯の雪害は大変のよう、あとひと月の辛抱は、春を待つ心情への共感を強くします。

地球の一日は23.9時間、月の一日は24.8時間、月の一ヶ月（新月から次の新月まで）は、29.5日。月が地球に及ぼす引力は、日に二回の潮汐を、これに太陽の影響が加わり、月に二回の大潮小潮を、年に二回のアマゾン大逆流を生む。

原始的な単細胞生物から高等哺乳動物に至るほとんどの生物には、約24時間周期の概日リズム（サーカディアン・リズム）が認められる。概日リズムは、生物の最も基本的かつ重要な環境適応機構で、このリズムの発振源である生物体内時計は、月が作る引力の周期に同調している。太陽の影響が排除された洞窟環境では、ヒトでも一日24時間のリズムがズレて28.8時間前後になる。地上の生物の体内時計は、月のリズム28.8時間を基調としながら、太陽のリズム24.8時間によってリセットされ再同期されて実現されている（ある種の睡眠や気分の障害は、太陽に曝されないことが主因である）。

天体運行に注目しすぎると占星術になってしまいが、ある種の体質傾向や壮健でない状況では、月のリズムによって体調変化が現象する可能性は高い。これに気象変動が加重すると、その傾向は一層に強まるのではないかと考えている。暦日付の潮汐小に気圧上昇と気温低下が加わり、潮汐大に気圧低下・気温上昇が加わると副交感神経系とリンパ球系の亢進が現象する可能性がある。

からたちの幾何の定理を解いている



養生之曆

2006年3月

no.115

旧暦 如梅見月
仲 仲 春

筑紫鍼灸院

水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木
 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30



二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 廿 廿一 廿二 廿三 廿四 廿五 廿六 廿七 廿八 廿九 一 二

旧暦
二月

啓
蟄

上
弦

日出 11:09
月出 18:48
正中 01:30
月没

望

日出 06:29
月出 18:26
正中 00:16
月没 06:35

彼
岸
入
り

春
分

下
弦

日出 01:47
月出 06:33
正中 11:19
月没

彼
岸
明
け

朔

日出 06:11
月出 18:37
正中 05:57
月没 12:08
18:30

金
31



三

端座して
身の程おもう

ナルシサ

六日啓蟄、二十一日春分
梅の開花がひと月ほど遅れたよう
で、紅梅と白梅が一緒に咲いていま
す。春は順調な歩みです。二月の気
象は、気温・気圧・風の各要素がほ
三日おきに回転し不安定でした。意
外ですが、月間平均気温は昨年より
約一度ほど高く、大略では平年並み
かやや暖かいとの予報通りでした。
ただ、日間の気象要素の変動は過去
数年と比較しても際だっており、メ
リハリがありすぎたようです。
人の健康状態はなぜ変化するのか、
病は何故あるのか。この始原的な問
いを「天人」の三つの層で考えて
いきます。天 地球上の万物に等し
く作用する月日要素。地 地理と
地形と時季に変化し偏在して作用す
る気象要素。人 歴史的な社会環
境と個人の生活史が作用する社会的
かつ個人的な要素。例えば流行病の
病原体は、地「特に気温と、人」社
会環境の関数としてその病原性が発
揮されるものと考えられます。また
例えば、先月末から一気に飛散し始
めた花粉類への過敏症である、いわ
ゆる花粉症も、春の特異的な気象変
動に対応した身体生理の変化がなけ
れば、花粉の抗原性は発揮されな
いでしょう。真冬や真夏に花粉に曝
されたとしても、症状発現は限定的
なはず。春から初夏に冷え症が最
も強く出ること、花粉症の発症に
は関係がありそうです。
暦日付の 潮汐大の日に、気圧低
下・気温上昇が加わると、副交感系優
位となり、花粉症は増悪し、潮汐
小の日に、気圧上昇と気温低下が加
わると交感系優位となり、花粉症は
軽減する可能性があります。

筑紫鍼灸院

旧暦 弥花見月春
花見月春
晚

2006年4月
no.116

養生之暦

土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日							
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30



四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	廿	廿一	廿二	廿三	廿四	廿五	廿六	廿七	廿八	廿九	卅	一	二	三
---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	---	---	---	---

旧暦 三月	清明 上弦 10:49 18:29 01:15	灌仏会	望 05:50 18:48 19:28 00:14 05:51	復活祭(西)	穀雨	下弦 01:30 06:25 11:25	復活祭(東)	朔 05:33 18:59 05:28 12:29 19:40
----------	-------------------------------------	-----	--	--------	----	-------------------------------	--------	--

五日清明、二十日穀雨
先月中旬下旬、花冷えと言うには少し寒すぎる春の嵐、車体や窓ガラスを汚す黄砂混じりの雪、春に三日晴れ無しの譬え通りの不安定な天候が続きました。それでも、気象変動グラフで見ると、二月の不安定さに比べ、より落ち着いていた、平年並みの晴れの日が多かったようです。四月も同様に平年並みとの予報が出ています。桜の開花予報が的中しないで苦心している予報官の話がありまして、予報精度への要求水準は満足することがないようです。総括的に見れば、短期中期の予報はほぼ順当に当たっているようです。

ドイツでは、気象変化と人の健康状態を関連づけて考える「生気象」という考え方を、根強く探求しているようです。近代医学の発祥の地でもある彼の地で、風土あるいは産土への関心が深いのは何故なのか、非常に興味があるところでは。

病は何故あるのか。「天地人」の三つの層でこの始原的な問いを考え続けることと、対症的に手当治療を行うことの間には大きな溝があります。それは、病者にも介助者にも治療者にも同様にあり、近視眼的、至近的、直接的に対応することと、適応的、環境的、包括的に対峙することとの差でもあります。取り敢えずの手当が不要だというのはありませんし、取り敢えずに終始せざるを得ない現実も無視できません。がしかし、取り敢えず、の自覚は大切ではないかと思っています。

暦日付の 潮汐大に、気圧低下や気温上昇が加わると、副交感系優位となり、喘息やアレルギー症状は増悪し、潮汐小に、気圧上昇や気温低下が加わると交感系優位となり、それらは軽減する可能性があります。人並みと気付く朝に花ちりぬるを



月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火
 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30



四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 廿 廿一 廿二 廿三 廿四 廿五 廿六 廿七 廿八 廿九 | 一 二 三 四

旧曆 八十八夜
四月

立夏
上弦 11:37
端午節 18:48
月出 01:19
月没

望 母の日
05:19
19:10
19:23
19:37
日没 04:52
日出 正月

小満
下弦 00:52
月出 06:11
月没 11:38

朔 旧曆 五月
05:11
19:20
04:40
12:07
19:40

31 木

五

まいまいの
家出の後の
花の下

初夏 六日立夏 二十一日小満
 四月は、三月と同様に数日おきに
 天気が入替わる変動の多い日和で
 した。気象変動グラフでも頻繁にピ
 ークが上下していました。概況的に
 は、平年並みかやや低めの気温、平
 年より多めの降雨量だったようです。
 生潮汐(月と太陽の影響)では、十三
 日と二十六日前後に副交感神経系優
 位の徴候(喘息や神経痛の増悪)が観
 察されました。
 今月五月は、気温は平年並み、降
 雨量は平年並みかやや多めと出てい
 ます。生潮汐(月と太陽の影響)で
 は、連休後半に交感系優位、二十六
 日前後に副交感系優位となる可能性
 があり、それぞれ気圧上昇・気温低
 下、気圧低下・気温上昇などの気象
 条件が重なると、生体反応の傾向が
 増強される可能性があります。
 交感神経・顆粒球系優位では、血管
 系の破綻性障害、細菌感染の反応過剰
 である組織破壊(化膿性炎症や潰瘍病
 変)等が生じやすくと考えられます。
 副交感神経・リンパ系の優位では、
 血管系の弛緩性障害や局所組織のうつ
 血性病態(関節痛、リウマチ、神経痛
 など)、アレルギー反応、自己免疫的
 病態等が生じやすくと考えられます。
 筋肉の五月病(筋違い・寝違い)
 春から初夏にかけては日内の温度差
 が大きく、衣服寝具のミスマッチが
 起こりやすいこと、夏に向けて筋肉
 内の血流が体表面にシフトして一時
 的相対的に不足気味になることが相
 まって、筋肉が冷えたのと似た状態
 が生じやすく、このような状態で急
 で不用意な動作や無理な姿勢をする
 と筋違い(ごく軽い筋断裂や筋腱膜
 の垂脱臼?)が起きるのではないかと
 考えています。

養生之曆

木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金							
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30



六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	廿	廿一	廿二	廿三	廿四	廿五	廿六	廿七	廿八	廿九	卅	一	二	三	四	五
---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	---	---	---	---	---	---

旧暦 五月	上弦 12:18 18:47 00:44	芒種	入梅	望 05:07 19:29 20:24 00:10 04:57	父下 の弦 日 出 中 正 月 没 11:47	夏至	朔 05:09 19:33 05:08 12:48 20:25	旧暦 六月
----------	-------------------------------	----	----	--	---	----	--	----------

仲夏 六日芒種、二十一日夏至
【恒例・夏至冬至データ】

暦の上では、夏も峠にかかります。昼間が最も長いとされる夏至は二十一日ですが、日の出が最も早いのは今月の九日から十六日の五時七分頃、日没が最も遅いのは今月の二十四日から七月五日で七時三十三分頃となっています。昼時間は、夏至で十四時間二十四分位、冬至で九時間五十六分位ほどで、その差は四時間半ほどもありません。朝夕の日出で言えば、それぞれ二時間位ズれることになりませう(福岡にて)。

月日	日出	日没	昼時間
6 8	5:08	19:27	14:19
6 9	5:07	19:28	14:21
6 10	5:07	19:28	14:21
6 11	5:07	19:29	14:22
6 12	5:07	19:29	14:22
6 13	5:07	19:30	14:23
6 14	5:07	19:30	14:23
6 15	5:07	19:30	14:23
6 16	5:07	19:31	14:24
6 17	5:08	19:31	14:23
6 18	5:08	19:31	14:23
6 19	5:08	19:32	14:24
6 20	5:08	19:32	14:24
6 21	5:08	19:32	14:24
6 22	5:08	19:32	14:24
6 23	5:09	19:32	14:23
6 24	5:09	19:33	14:24
6 25	5:09	19:33	14:24
6 26	5:09	19:33	14:24
6 27	5:10	19:33	14:23
6 28	5:10	19:33	14:23
6 29	5:10	19:33	14:23
6 30	5:11	19:33	14:22
7 1	5:11	19:33	14:22
7 2	5:12	19:33	14:21
7 3	5:12	19:33	14:21
7 4	5:13	19:33	14:20
7 5	5:13	19:33	14:20
7 6	5:14	19:32	14:18

五月の気象は、低めの気温、多めの降水量、三割程度少なめの日照で、このままだとこの夏は冷夏に近く、夏野菜の不出来などが心配されています。生潮汐(月と太陽の影響)は、気象の反対要素が強く、大きな変動は観察されませんでした。六月は、気温やや低め、降水量やや多め、日照も少なめと、五月と同傾向の予報です。生潮汐(月と太陽の影響)では、三日前後に交感系の、十二日前後に副交感系の優位があり、気圧上昇と気温低下、気圧低下と気温上昇が重なると、その傾向が増強される可能性があります。

交感系優位では、血管系の破綻性障害、細菌感染の反応過剰である組織破壊(化膿性炎症や潰瘍病変)等。
副交感系優位では、血管系の弛緩性障害や局所組織のうつ血性病態(関節痛、リウマチ、神経痛等)、アレルギーや自己免疫的病態等。六月はリウマチ等の関節病態の最悪月でもあります。

夏至空を蟻の隊列運びおり



筑紫鍼灸院

2006年7月

旧暦 水無月
田草夏
晩 夏

no.119

養生之暦

土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日							
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30



六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	廿	廿一	廿二	廿三	廿四	廿五	廿六	廿七	廿八	廿九	一	二	三	四	五	六
---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	---	---	---	---	---	---

旧暦 六月	半夏生	上弦 12:54 出中 18:41 月正 没	小暑	望 05:16 出 19:31 日没 20:02 月正 04:47	下弦 ***: 月出 06:10 正 13:01	大暑	朔 05:25 出 19:24 日没 05:01 月正 12:27 没 19:46	旧暦 七月
----------	-----	---------------------------------------	----	--	---	----	--	----------

月 31
七

直角の雨に
うたせよ
死者の記憶

晩夏 七日小暑、二十三日大暑
六月の気象は、気温、降水量共に
平年並み、やや少なめの日照で、心
配されていた夏野菜の出来もまずま
ずだったようです。五月中旬の県内
ダム貯水率は八十六%でしたが、六
月末には、田植え需要があつたにも
かかわらず九十八%ほどでほぼ満水
のようです。生潮汐（月と太陽の影
響）は、十二日の満月前後で気温の
上昇が大きかつた八日と十五日頃に
副交感系優位の症状が報告されまし
た。また、大雨の降つた二十二日前
後には気圧低下と気温上昇が大きか
つたためか、やはり副交感系の優位
と考えられる関節症状や呼吸器症状
が観察されました。
七月は、気温平年並み、降水量や
也多め、日照も少なめの予報です。
生潮汐（月と太陽の影響）では、四
日と十九日前後に交感系の、十二日
前後に副交感系の優位がありますが、
それぞれ気圧上昇と気温低下、気圧
低下と気温上昇が重なり、その傾
向が増強される可能性があります。
交感系優位では、血管系の破綻性障害
細菌感染の反応過剰である組織破壊（化
膿性炎症や潰瘍病変）等。
副交感系優位では、血管系の弛緩性障
害や局所組織のうつ血性病態（関節痛、
リウマチ、神経痛等）、喘息やアレルギー
、自己免疫的病態等。
ヒトの身体生理は、十万年前、粗
食と厳しい労作に適應して完成した
とされる。粗食と辛い労作からの開
放、それが文明の効能である。飽食
にダイエツト、安楽とバリアフリー
に体操の組み合わせも、また文明の
有様だが、何ものにも代替されない
生の真実は、文明とは無縁の事柄の
ような気もする。

筑紫鍼灸院

2006年8月

旧暦 文月 月
七夕 初秋
初

no.120

養生之曆

火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30



八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 廿 廿一 廿二 廿三 廿四 廿五 廿六 廿七 廿八 廿九 卅

朔
旧暦 閏七月
05:46
18:55
05:52
12:38
19:16

処暑

下弦
孟蘭盆会
23:16
05:48
13:09

望
立秋
05:36
19:12
19:21
04:49

旧暦 七月

上弦
12:39
18:01
23:17

初秋 八日立秋 二十三日処暑
気圧気温湿度の日間差を気象差分と呼び観察しています。七月は、年間で最も気象差分が小さく変化が少ない月です。とりわけ今年は過去三年間と比べても変化が少なく、気象差分グラフも基準線近くでほぼ横一直線でした。それで、気象差分が少なかった七月に生じた特発的な体調変化は、生潮汐(月と太陽の影響)が大きな役割を果たしたと考えています。七日、十日、二十一日、二十三日の副交感系優位の徴候として軽度の喘息発作が観察されました。八月は、気温、降水、日照共に平年並みの予報です。生潮汐(月と太陽の影響)は、六日、八日と十九日、二十二日が潮汐大で副交感系の優位が、十三日、十五日が潮汐小で交感系の優位が生じる可能性があります。先月同様、気象変動が小さく潮汐大小がそのまま体調変化に影響するのではないかと考えています。

交感系優位は、脈管系の破綻性障害、過剰反応による組織破壊(化膿や潰瘍等) 副交感系優位は、脈管系の弛緩性障害 や局所のうつ血性病態(関節痛、リウマチ、神経痛等)、喘息やアレルギー、自己免疫的病態等。

地球温暖化は人類文明と無関係に十万年、数千年、数百年の長短入り交じった周期で生じているらしい。今進行中の温暖化は、十万年周期規模の大温暖化で、人類の環境破壊はこれを加速させていて、今後百年で六度近く気温が上がると予測されている。森林消失と砂漠化、亜熱帯なみの驟雨。年毎に早まる庭木の枝葉の伸びと黄砂増加に、大温暖化を実感される方もある。大暴風雨と大洪水の二十一世紀とはいえ、人生八十年ですら瞬きの諸行無常である。

木 31



八

放蕩の地球は
プラに納まらず



養生之曆

2006年9月

旧曆 閏文月
閏初秋

筑紫鍼灸院

no.121

金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土
 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30



九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 廿 廿一 廿二 廿三 廿四 廿五 廿六 廿七 廿八 廿九 | 一 二 三 四 五 六 七 八 九

二百十日 上弦 出月 13:34 中月 18:25 正月 23:12	旧曆 閏七月	白露 日出 05:56 日没 18:36 出中月 18:56 出正月 00:16 正月没 06:06	二百二十日 下弦 月出 22:49 月中 06:33 月没 13:13	彼岸入り	朔 日出 05:38 日没 18:16 日出 05:39 日没 11:57 正月没 18:08	秋分 旧曆八月	彼岸明け	上弦 出月 13:25 中月 18:10 正月没 22:57
--	-----------	---	---	------	--	------------	------	---

初秋 八日白露 二十三日秋分
 福岡市で観測された先月八月の月間平均気温は二十九・三度、過去三年の同月平均で二十八度、過去三十年間の同月平均で二十七・六度となつています。今年は、三十年平均からすると二度ほど暑かったことになり、実感と一致した結果でした。また、明治二十三年一八九〇年から明治四十五年までの年間平均気温は約十五度、三十年平均では十六・六度、三年平均で十七・四度となつており、この百年余で年間平均気温も二度ほど上昇しています。月平均と年平均では随分と意味も意義も違いますが、何れにせよ、単純で一過性の変動以上の、一連の温暖化の一端としての気温上昇には違いないようです。

八月も気圧気温湿度の日間差、気象変動は小さく、この気象差分が少ない条件で生じた特発的な体調変化は、生潮汐(月と太陽の影響)が一定の役割を果たしたものと考えています。六、八日と十九日、二十二日の間、副交感系優位の徴候として喘息や慢性閉塞性肺疾患の方に特発的な呼吸障害の増悪が観察されました。また、熱中症の発症条件として生潮汐の関与を疑い得るような事例も伝聞しています。

九月は、気温高め、降水少なめ、日照多めの予報で、お彼岸過ぎまでは残暑が厳しそうです。生潮汐(月と太陽の影響)は、四日、七日と十八日、二十一日が潮汐大で副交感系の優位が、十日、十三日が潮汐小で交感系の優位が生じる可能性があります。

交感系優位は、脈管系の破綻性障害、過剰反応による組織破壊(化膿や潰瘍等)、副交感系優位は、脈管系の弛緩性閉塞性障害や局所のうつ血性病態(関節痛、リウマチ、神経痛等)、喘息や呼吸障害、アレルギー、自己免疫的病態等。

蠅螂の右手の記憶ネギ刻む



筑紫鍼灸院

2006年10月 旧暦 葉秋風月 仲秋

no.122

養生之曆

日月火水木金土日(月)火水木金土日月火水木金土日月
 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30



十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 廿 廿一 廿二 廿三 廿四 廿五 廿六 廿七 廿八 廿九 卅 一 二 三 四 五 六 七 八 九

旧暦 八月

望 寒露
 中秋の名月
 日出 06:16
 日没 17:53
 日中 11:34
 月没 06:04

下弦
 月出 23:39
 月没 06:14
 月出 13:45

朔 霜降
 日出 06:28
 日没 17:38
 日中 11:55
 月没 17:25

旧暦 九月

上弦 重陽
 日出 13:41
 日没 18:52
 日中 00:21

火 31



十

ガリレオの
 繰り言の空
 n個の青


戦火渦中のレバノンの国旗に描かれた緑のレバノンの由来から、遙か六千年前の文明の発祥と隆盛と崩壊の文明史ダイジェストが見てとれます。かつてトルコ・イラク・シリアからレバノンの広大な地に繁茂していたレバノンの森も、今ではレバノン高地に千二百本余りを残すのみと言います。ノアの箱舟の大洪水の主因は森林破壊。そして箱舟の部材はレバノン杉。危機胚胎も救援も人間文明という皮肉です。

隊列の蟻の定義をまたぎをり
 仲秋 八日寒露 二十三霜降
 福岡市の九月の月間気温は二十三・三度、前月との差は、マイナスイ・八度もありました。気温降下の傾向は十月並みの一気の下りで、残暑はさほどではなかったようです。
 九月の生気象は、強烈な台風風襲来の十七日前後に気圧低下が大きく、これと生潮汐(月と太陽の影響)の下降が重なり、副交感系優位の徴候として呼吸障害の増悪が数例観察されました。また、日内の気温差は七度ほどで平均的でしたが、全般的な気温低下が急で寝具調整がについて行けなかつたためか「冷え」による風邪や筋肉痛も散見されました。
 十月の気象は、気温降水日照共に平年並み、という芸のない予報で、これが当たれば、穏やかな行楽の秋です。生潮汐(月と太陽の影響)は、三日(五日と十七日)十九日が潮汐大で副交感系の優位が、九日、十二日が潮汐小で交感系の優位が生じる可能性があります。
 交感系優位は、脈管系の破綻性障害、過剰反応による組織破壊(化膿や潰瘍等)、副交感系優位は、脈管系の弛緩性閉塞性障害や局所のうつ血性病態(関節痛、リウマチ、神経痛等)、喘息や呼吸障害、アレルギー、自己免疫的病態等。

筑紫鍼灸院

2006年11月 旧暦 長菊 月 月 月
 晚 菊 秋
 no.123

養生之曆

水 木 (金) 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 (木) 金 土 日 月 火 水 木
 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30



十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 廿 廿一 廿二 廿三 廿四 廿五 廿六 廿七 廿八 廿九 卅 | 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

旧暦
九月

望 立冬
 日出 06:40
 日没 17:24
 月出 16:56
 月没 06:03

下弦
 日出 06:32
 日没 13:26

朔 小雪 旧暦 十月
 日出 06:55
 日没 17:13
 月出 07:10
 月没 12:10

上弦
 日出 12:49
 日没 18:29

晩秋 七日立冬二十一日小雪
 福岡市の十月の平均気温は二十・七度、最高は二十八・三度、最低は十四・五度、前月差は、マイナス二・六度。三十年平均との比較で、平均二度、最高五度高く、最低ほぼ同等でした。気温傾向は平年十一月と似て、一気の下りから一転して緩やかな下り。この傾向から見ると、二年前の暖冬時と似ています。
 十月の生気象は、グラフ上大きな変動がなかったにも関わらず、二十二日から数日間、副交感神経系の緊張症状(血圧低下、冷汗、生唾、気分不良など)ワゴトニと呼ばれるような状態を示した方が多数観察されました。この時は、突発的な南東風と気圧低下と降雨が、新月と重なり、副交感系優位の徴候が出たのではないかと推測しています。
 十一月の気象は、気温高め、降水日照共に平年並みの予報です。生潮汐は、二日、五日と十六、二十日が潮汐大で副交感系の優位が、八日、十日が潮汐小で交感系の優位が生じる可能性ががあります。
 先日、脳梗塞による半身マヒと軽い認知症で施設入所されている高齢のご婦人を見舞ったおり、不自由な右手で練習しているという、広告の裏に書かれたミミズの這ったような病床標語、無量寿経の三毒五惡説の現代版でしょうか、「写経」を発見しました。面白いので載せてみます。
 つもりちがいが十ヶ条
 一、高いつもりでも低いのが教養
 二、低いつもりでも高いのが気位
 三、深いつもりでも浅いのが知識
 四、浅いつもりでも深いのが欲望
 五、厚いつもりでも薄いのが人情
 六、薄いつもりでも厚いのが面皮
 七、弱いつもりでも強いのが自我
 八、強いつもりでも弱いのが根性
 九、多いつもりでも少いのが分別
 十、少いつもりでも多いのが無駄
 たましいを探しあぐねて赤トンボ



筑紫鍼灸院

2006年12月 旧暦 霜雪待月 仲冬

養生之曆

no.124

金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土
 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30



十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 廿 廿一 廿二 廿三 廿四 廿五 廿六 廿七 廿八 廿九 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一

旧暦 十月	望 日 07:07 日出 17:10 月出 17:04 正月中 月没 07:19	大雪	下弦 *** 月出 05:50 月没 12:17	朔 日 07:18 日出 17:14 月出 07:02 正月没 16:36	冬至	旧暦 十一月	上弦 出 11:51 月 18:02 正月中 月没 ***
----------	---	----	-----------------------------------	---	----	-----------	---

仲冬 七日大雪、二十二日冬至

【恒例・夏至冬至デー】

暦の上では冬も半ば。昼時間が最も短い冬至は今日二十二日、日の出が最も遅いのは来月の二日から十四日の七時二十三分頃、日没が最も早いのは今日四日から六日で五時十分頃。六日以降は逆に日没が少しずつ遅くなり、月末、つまり年末には三十分弱も夕方長くなっています。昼時間、夏至で十四時間二十四分位、冬至で九時間五十六分ほどで、その差は四時間半ほど。朝夕の出没の差は、それぞれ二時間位もありませう。気温はさておき、午後の光の象で言えば、冬至れば春の兆し、です。

月日	日出	日没	昼時間
12 6	7:08	17:10	10:03
12 7	7:09	17:11	10:02
12 8	7:09	17:11	10:01
12 9	7:10	17:11	10:00
12 10	7:11	17:11	9:59
12 11	7:12	17:11	9:59
12 12	7:12	17:11	9:58
12 13	7:13	17:12	9:58
12 14	7:14	17:12	9:58
12 15	7:14	17:12	9:58
12 16	7:15	17:12	9:57
12 17	7:16	17:13	9:57
12 18	7:16	17:13	9:57
12 19	7:17	17:14	9:57
12 20	7:17	17:14	9:57
12 21	7:18	17:14	9:56
12 22	7:19	17:15	9:57
12 23	7:19	17:16	9:57
12 24	7:20	17:16	9:57
12 25	7:20	17:17	9:57
12 26	7:20	17:17	9:57
12 27	7:21	17:18	9:57
12 28	7:21	17:18	9:57
12 29	7:21	17:19	9:58
12 30	7:22	17:20	9:58
12 31	7:22	17:21	9:59
1 1	7:22	17:21	9:59
1 2	7:22	17:22	10:00
1 3	7:23	17:23	10:00

十一月の気象は、形としては冬に近い四五日おきに变化する天候でしたが、三十年平均に比べ、平均気温で二度、最高気温で八度も高めでした。気象変化と潮汐変動の重なりから、十一日と二十四日の前後に交感系優位の、十九日前後に副交感系優位の体調変化が観察されました。十二月の気象は、気温高め、降水多め、日照少なめの予報です。生潮汐は、一日、三日と十六、十九日が潮汐大で副交感系の優位が、七日、十日が潮汐小で交感系の優位が生じる可能性ががあります。地球温暖化に懐疑的な米国で、月二千五百円までなら対策費を払ってほしいという人が五割ほどいたという調査結果が出ました。ハリケーンと竜巻と干魃が追い風でしょうか。

日 31

 十二 大晦日
 壮丁の たましひあはく 柚冬至

